

日本アルプスガイドセンター
令和7年：2025年版
アニュアル レポート



一般社団法人 日本アルプスガイドセンター

総括 Overall Review

2024年、外国人観光客が過去最高となり、山岳観光の来訪も過去に例がないほど活況を見せてきました。上高地の来訪者は143万人を超え、観光バスの乗り入れ規制が始まって以降減少傾向にあった数字は昨年、今年と完全に回復した状況にあります。山岳観光はこれからいかに質の高い来訪にするのか、その見極めが求められることとなります。

そんな中、日本アルプスガイドセンターの2023年は6シーズン目を迎え、主に環境省の国立公園感動体験創造事業を推進する1年となりました。

中部山岳国立公園の主にKita Alps Traverse Routeにおけるインバウンド向けの高付加価値ツアーを造成する事業で、2023年に観光庁で取り組んだ高付加価値事業の延長線上の事業と位置づけられ、全国の8つの国立公園とそれぞれの地域に、こうしたツアーを造成する目的で進められた事業です。

中部山岳国立公園では主に乗鞍のライチョウをテーマとして、外国人には今ひとつピンと来ないライチョウについて、元々ポテンシャルのある地域の魅力とライチョウをどのようにストーリーとして位置づけるのが最も大きな課題となり、ストーリーづくりに邁進した形となりました。

そしてWebサイト「The Japan Alps」については6シーズン目に過去最高のPVを達成して、登山者の方々にも受け入れられる情報となりました。ただ実際にはスポンサー状況や賛助会員助教は思いうような成果が得られず、今後の大きな課題を残した一年になったと言えます。

2025年6月30日
一般社団法人日本アルプスガイドセンター
代表理事 新美 透

一般社団法人 日本アルプス ガイドセンター 発足5年目

事業目的 広く世界から日本アルプスへの登山・アウトドアを目的とした来訪を促進させ、地域社会の活性化へつなげるとともに、環境や生物多様性の保全を進め、日本アルプスが世界の観光TOPブランドへ育つ一助となる。

事業概要 世界中の（海外、国内）登山者、ウィンタースポーツ愛好者、アウトドアファンに向けて、日本アルプス（八ヶ岳、霧ヶ峰、美ヶ原などのエリア含む）山域の登山・アウトドア情報と関連する有益なサービスを提供、自然環境を護りながら観光のサステナブルへ貢献する。

VISION「3つのハブとなる」



世界中の登山者、アウトドアファンと日本アルプス圏域とをつなげるハブとなり、日本アルプスの魅力を世界中に拡散する

Global Brand



素晴らしい自然環境を次世代の登山者、アウトドアファンへつなげるハブとなり、日本アルプスの魅力を彼らに継承していく

Sustainability



日本アルプスを通じて地域社会や行政、民間の力を横につなげるハブとなり、地域の活性化への力となる

Crossover

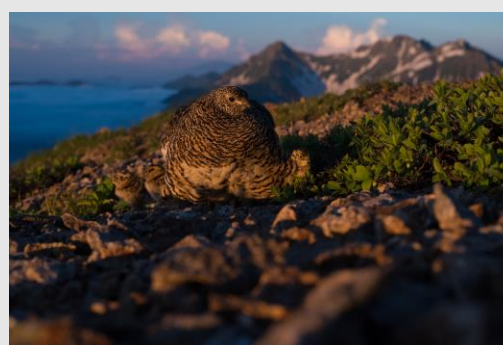
事業名称 一般社団法人 日本アルプス ガイドセンター

本社事業所 東京都 渋谷区渋谷3-6-2 エクラート渋谷5F HUB内
長野県塩尻市広丘高出2205

役員

代表理事	新美 透	（元アサツーディ・ケイ営業局長）
専務理事	中林 玲	（Web制作会社イーオフィス 代表取締役）
理事	中田 真二	（山歩家 山岳ライター）
理事	富生 昌史	（ADK クリエイティブワン 局長クリエイティブディレクター）
監事	加藤銀次郎	（全国山の日協議会 運営委員、元松本市山岳観光課 課長）

連絡先 03-5324-2385



HIGHLIGHT

- ・山岳地域の里、高山と松本で日本の伝統文化を通して人を知る
- ・里山にある古刹千光寺で瞑想と祈祷による乗鞍信仰の清浄体験を行う
- ・日本アルプス3000m峰、乗鞍岳で奥山の自然と生物多様性を体験

GSTCカテゴリー

- ・文化的なサステナビリティ
- ・環境のサステナビリティ

地域資源

- ・高山の古い町並みと伝統工芸、和食
 - ・里山にある古刹千光寺の瞑想体験や護摩祈祷。
- 乗鞍畳平と乗鞍白雲荘
- ・畳平周辺の自然とRaichoなどの野生動物
 - ・乗鞍岳剣ヶ峰（3,017m）
 - ・松本城と城下町 水資源を活用した伝統の酒造蔵



ACCESS

To 高山
東京-名古屋-高山
(5時間～)
京都-名古屋-高山
(4時間～)

From 松本
松本-新宿
(3時間～)
松本-名古屋-京都
(3時間～)

体験詳細

日本の屋根とも呼ばれる中部山岳国立公園、日本アルプスの北部地域、里である高山を起点として、里山を経て3000m峰の奥山を越え、山向こうの里松本へ至る、「Kita Alps Traverse Route」の一つを日本人の原点を追体験する形で巡る3泊4日の山岳観光ツアー。

価格情報

- 価格（税込 コミッションは含まれていません）

¥600,000 JPY 3泊4日

- 含まれるモノ

- ・3泊宿泊費
- ・食事代-1日目夕食、2日目朝食・昼食・夕食、3日目朝食・昼食・夕食、4日目朝食・昼食
- ・移動費用-タクシー、公共交通機関
- ・アクティビティ体験料（ドネーションが含まれています）
 - 1日目伝統工芸見学体験、2日目千光寺瞑想体験、祈祷体験
 - 3日目乗鞍岳ハイキング、4日目酒造蔵本見学、松本城入城
- ・4日間のスルーガイド費、アクティビティスポットガイド費

- 含まれないモノ

- ・集合場所までの交通費、解散以降の交通費
- ・集合時間以前の食費、解散時間以降の食費
- ・夜食や副食などご自身が独自購入される飲食物、飲食代
- ・お土産などご自身が独自に購入される物品
- ・旅行期間における装備品やレンタル品

日程

1日目

高山古い町並みを歩いた後、伝統工芸の見学体験へ。高山と木材における人の暮らしと文化を体験。その後料亭角正で精進料理を堪能し、宿泊は市内の一棟貸の宿、もしくは郊外の古民家宿へ。

2日目

里山にある千光寺で、乗鞍へ向かう前の清浄体験として、瞑想と加持祈祷を体験する。千光寺でお弁当を食べた後、クルマで乗鞍畳平へ。畳平にある山荘乗鞍白雲荘へ宿泊。夜は乗鞍の歴史を山荘支配人から伺い、その後星空散歩へ。

3日目

夜明け前、天気良ければご来光ハイキング。その後乗鞍岳剣ヶ峰へハイキング。途中でライチョウの観察機会をうかがう。午後ゆっくりした何もしない時間を過ごした後、畳平から松本へ下山。途中乗鞍あずさ水神社へ。宿は松本十帖などのモダン温泉旅館。

4日目

クルマで酒造蔵へ。北アルプスに端を発した水を使った酒づくりを見学し、松本における人と自然のつながりを体感する。昼食は水と関わりの深いそばを味わい、午後旅のフィナーレとして松本城を訪れ、越えてきたアルプスの山を臨みツアーは終了となる。

FY5事業決算 I B/S

令和 7年 3 月 31 日時点

貸借対照表

一般社団法人 日本アルプスガイドセンター



単位: 円

	2024/03/31	2025/03/31	Flux
資産の部			
現金及び預金	14,729,382	12,003,928	△ 2,725,454
未収入金	2	286	284
流動資産	14,729,384	12,004,214	△ 2,725,170
差入保証金	0	69,000	69,000
投資その他の資産	0	69,000	69,000
固定資産	0	69,000	69,000
創立費	4,751,082	4,751,082	0
繰延資産	4,751,082	4,751,082	0
資産	19,480,466	16,824,296	△ 2,656,170
負債の部			
未払金	1,622,013	1,707,372	85,359
未払法人税等	70,000	70,200	200
預り金	11,010	260	△ 10,750
流動負債	1,703,023	1,777,832	74,809
長期借入金	23,427,851	21,727,851	△ 1,700,000
固定負債	23,427,851	21,727,851	△ 1,700,000
負債	25,130,874	23,505,683	△ 1,625,191
純資産の部			
繰越利益剰余金	△ 19,987,161	△ 19,650,408	336,753
当期純損益	336,753	△ 1,030,979	△ 1,367,732
利益剰余金	△ 19,650,408	△ 20,681,387	△ 1,030,979
株主資本	△ 19,650,408	△ 20,681,387	△ 1,030,979
基金	14,000,000	14,000,000	0
新株予約権	14,000,000	14,000,000	0
純資産	△ 5,650,408	△ 6,681,387	△ 1,030,979
負債・純資産合計	19,480,466	16,824,296	△ 2,656,170

会計報告：シンアカウンティングサービス

FY5事業決算Ⅱ P/L

(自 令和 6年 4 月 01 日. 至 令和 7年 3 月 31 日)

損益計算書

一般社団法人 日本アルプスガイドセンター



単位: 円

	2023/04/01 2024/03/31	2024/04/01 2025/03/31	Flux
売上高			
会費収入	3,150,479	3,015,882	△ 134,597
補助金収入	13,236,177	9,709,144	△ 3,527,033
委託事業収入	390,536	493,213	102,677
売上高	16,777,192	13,218,239	△ 3,558,953
売上原価			
業務委託費	11,830,936	9,290,306	△ 2,540,630
売上原価	11,830,936	9,290,306	△ 2,540,630
売上総利益	4,946,256	3,927,933	△ 1,018,323
販管費			
役員報酬	1,800,000	1,200,000	△ 600,000
給料手当	543,000	418,270	△ 124,730
法定福利費	147,528	257,464	109,936
外注費	493,845	812,367	318,522
新聞図書費	0	9,680	9,680
接待交際費	22,680	3,667	△ 19,013
会議費	19,190	142,800	123,610
研修費	0	124,700	124,700
諸会費	60,000	60,000	0
旅費交通費	1,286,655	825,452	△ 461,203
通信費	343,899	48,192	△ 295,707
販売促進費	74,800	0	△ 74,800
消耗品費	2,560	100,793	98,233
支払手数料	8,185	562,543	554,358
地代家賃	275,424	529,746	254,322
賃借料	10,420	0	△ 10,420
支払保険料	0	21,250	21,250
雑費	28,337	6,346	△ 21,991
販売費及び一般管理費	5,116,523	5,123,270	6,747
営業損益	△ 170,267	△ 1,195,337	△ 1,025,070
営業外収益			
受取利息	18	1,875	1,857
雑収入	577,002	232,683	△ 344,319
営業外収益	577,020	234,558	△ 342,462
経常損益	406,753	△ 960,779	△ 1,367,532
税引前当期純損益	406,753	△ 960,779	△ 1,367,532
法人税			
法人税等	70,000	70,200	200
税金費用	70,000	70,200	200
当期純損益	336,753	△ 1,030,979	△ 1,367,732

会計報告：シンアカウンティングサービス